

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月15日

事業所名 ジャンティユーアリス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		その日の利用状況に応じた環境の設定を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		その日の利用状況により細かく人員配置を行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車いすの児童も過ごしやすいようにバリアフリーになっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善が必要と感じた事柄についてはその都度職員間で話し合いを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は実施していませんが鹿児島県が毎年施設の運営状況等を実地、書類等で確認されています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人研修、施設内研修等を行っています。	外部の研修にも参加をしていますが職員の質の向上のために専門的な研修にももっと参加したいと思います。
適切な支援の提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の思いやお子様の発達段階を細かくアセスメントし課題分析につなげるようにしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		PVT-R等のアセスメントツールを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士が主となって課題を設定しますが看護師、PTを含めたスタッフで協議し決定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		外出活動(公共交通機関の利用等)を行い、体験の幅を広げられるようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			

供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で毎日支援の振り返りを行い気づいた点をご家族、学校からの情報等を共有できるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録は計画書に沿った支援の状況を記載し、看護師、PT等が必要に応じて記録を行い、支援の検証を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月モニタリングを行っています。必要に応じて計画書の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		放課後等デイサービスガイドラインを参考にしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		医療的ケアが必要な児童の担当者会議には看護師が参加しています。情報交換を行い安全面に配慮しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		年間計画や行事予定等を交換し学校との連絡を行っています。また、児童の情報交換を送迎時等に行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		緊急時に速やかな対応できるように常に連絡が取れるようにしています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		利用開始前に児童発達支援事業所との連携を図り情報共有や見学を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		今まで行ってきた支援内容を相談支援等に情報共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じてセンターと連携を図っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		アリス内の別の放課後等デイと合同の活動や生活介護の体験等は行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時に気になる点や児童の様子を伝えるようにしています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		排泄ケア等のアドバイスを行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		支援の変更がある場合は事前に聞き取りを行い保護者に承諾を得ています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの相談があった場合は適切な対応を心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親子活動などの活動を通じて保護者同士の交流の場を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		タイムズ(季刊誌)や法人の広報誌を発行しており活動の様子などを掲載し保護者に配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		写真や掲示物など事前に保護者からの同意を得られた方のみ掲載しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭での具体的な伝達、文書での伝達も行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		来年度は交流の機会等も検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		感染症の流行する時期は特に配慮させていただいています。	玄関に見れるように掲示してありますが、面談や茶話会等で説明を行なっていきたいと思っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回の避難訓練を行っています。	地震やその他の災害を想定した訓練も取り入れていく予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修やマニュアル等で周知を図っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、事例はありませんが主治医の指示書に基づいて保護者に確認し対応したいと思っています。	

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	記録に残し職員間で共有しています。	
----	---------------------------	---	-------------------	--